
インタビュー

中路太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インタビュアー

【Nコード】

N5844E

【作者名】

中路太郎

【あらすじ】

会話劇ですが、一度普通の会話劇はやっているの、少し趣向を凝らしたような気がします。

その人は少しばかり時間に遅れていた。

A「悪い」

いえいえ。それじゃあ早速始めさせていただきます。まずはお名前から。

A「戸倉」

年齢は皆さんご存知でしょうね。なんと言っても、日本最年少でオリンピック男子水泳金メダル。水泳を始めたキツカケはなんだっただんでしょう？

A「水族館でなんか夢中でラッコ見てたら……」

ええっ！（笑）

A「（笑）」

冗談ですよね（笑）えと、皆さん戸倉さんの事色々聞きたいと思うんですが、まずは休日の過ごし方など。

A「この間は海行ってたな」

海ですか…。青い海ですか？ 赤い海ですか？

A「赤って（笑）」

いや、だってそれで時間帯が分かるじゃないですか。友達と遊びに行ったとか、彼女と夕陽を見に行ったとか……遠まわしにそういう事を聞いたつもりだったんですけど、すみません（笑）

A「まあ、いいけどね（笑）」

それじゃあ、続いて、戸倉さんは彼女は……

A「あー、他のは？」

え、えと、他ですか？ はい、いっぱいありますよ。あ、今回読者に質問を募集しまして、中には写真まで送ってきた娘とも。

A「あ、ほら、あの、マフラーしてる」

え、ああ、この娘ですね。

A「かわいいーよな」

気に入られましたか（笑）じゃあこの娘の質問を……戸倉さんはどんな性格ですか？

A「細かいことに拘る」

へええ、そうなんですか。少し驚きました。泳ぎの印象からは小さな事には拘らない感じがしてたんですが、細かいんですか？

A「結構」

じゃあ、例えば先に注文したお料理が、隣に運ばれて来たりしたら……。

A「直ぐ凹むな（笑）」

繊細ですね（笑）あ、ごめんなさい。次で最後の質問ですね。えーコレは北海道の娘ですね。戸倉さんは勿論次も金メダルを取ってくれますよね？ ……だ、そうです（笑）

A「嫌な責め方するな（笑）」

私共が一番聞きたい質問だったりもしますけど（笑）

A「俺も取ろうかなくて、思ってるけどな」

凄い。余裕ですね。

A「めんどくさいから、金で買えないかな？（笑）」

わあー、急に毒吐き出した。

A「毒吐く（笑）」

「こゝこゝら辺で退散したいと思います（笑）今日は本当にありがとうございました。」

すみません前が少し押ししてしまつて。

B「いいですよ別に」

いえ、そういう訳には行きませんよ。これからはファンの皆さんと同様私もハル様と呼ばせていただきます。

B「そういうのは……ハルさんくらいで（笑）」

（笑）。という事で、演歌界のニュープリンス、ハルさん……いえ、ハル様です。今回の企画で読者から最もたくさんのががキが送られてきた方ですね。なので、出来るだけ多く質問を聞けるよう巻いていきます（笑）はい早速（笑）この間お休みがあつたそうですが、何されてました？

B「この間の休み……」

あれ？ 事前に質問を纏めたものを、一応事務所の方にお送りしてたんですけど、届いてませんか？

B「いや、聞いてませんけど。……あ、そうそう、バイクが来たんですよ。あの、赤いやつ」

バイク乗られるんですか？ 良いですね。

B「いいでしょう。好きなんですよ」

色は赤がお好きなんですか。

B「やっぱり赤ですね」

そうなんですか。ちょっと意外です。

B「あれ意外ですか？」

衣装がいつも白で統一されてるので少し。次の質問です。
出身地はどこですか？

B「基本ついてますね（笑）」

でしょう（笑） で、どちらのご出身なんですか？

B「川崎ですね」

神奈川出身なんですね。小さい頃はどんなお子さんだった
んですか？

B「大きかったですよ（笑）……写真見ます？」

はい。わーホントだ。面影ありますねー。

B「そうですね」

はい。あ、ありがとございまして、お返しします。あ、
ハルさん次の現場に行かなきゃいけないみたいなので、コレが最後

の質問になります。

B「すみませんね」

いえいえ、こちらこそお忙しい中…って何だか終わりみた
いですけど、最後の質問が残ってますから（笑）

B「（笑）」

えーじゃあコレ。静岡県の、ハル様まじカツコイイさんか
ら。

B「いいですね」

（笑）。えーと、ハル様の住所教えてください。わー最後
にとんでもないの引いちゃった（笑）

B「無理です（笑）」

と、言っても無理だと思うので…あ、良かった（笑）…新
曲のタイトル教えてください、だそうです。どうなる事かと思いま
した（笑）あ、でも大丈夫ですか？ まだどこにも発表されてない
ですけど。え？（小声で耳打ちされる）あはは、聞いちゃった。こ
れ…言っても…。

B「今のは完全に独り言だと思います（笑）どこかで言わないでく
ださいよ（笑）」

と、言うわけで、新曲のタイトルは「独り言」だそうです
（笑）ハル様、本日はお忙しい中、新曲のタイトルまで教えていた

だき、ありがとうございます(笑)

「悪い戸倉」

「いいですよ別に」

「水族館でなんか夢中でラッコ見てたら……」

「そういうのは……ハルさんくらいで……(笑)」

「(笑)」

「この間の休み……」

「この間は海行ってたな」

「いや、聞いてませんけど。……あ、そうそう、バイクが来たんですよ。あの、赤いやツ」

「赤って(笑)」

「いいでしょう。好きなんですよ」

「まあ、いいけどね（笑）」

「やっぱり赤ですね」

「あー、他のは？」

「あれ以外ですか？」

「あ、ほら、あの、マフラーしてる」

「基本ついてますね（笑）」

「カワイいいいな」

「カワサキですね」

「細かいことに拘る」

「大きかったですよ（笑）……写真見ます？」

「結構」

「そうですね」

「直ぐ凹むな（笑）」

「すみませんね」

「嫌な責め方するな（笑）」

「（笑）」

「俺も取るうかなくて、思ってるけどな」

「いいですね」

「めんどくさいから、金で買えないかな？（笑）」

「無理です（笑）……今のは完全に独り言だと思えます（笑）どこかで言わないでくださいよ（笑）」

「独白（笑）」

10

「何やってるの？」

「遅い。」

「悪い。で、隣じつと見て何やってたん？」

「盗み聞き&インタビュー」っつこ。

「はあ？」

まあ、いいじゃん。行くよ。

「あ、うん」

字の書かれたそれを、クシャリと握り締めてゴミ箱に放つた。

(後書き)

少し強引な気もしますが…(笑

感想お待ちしております。

それでは、失礼します。

えーと、肝心な部分での台詞間違いがあったので、訂正いたしました。

他にお気づきの方がいらっしゃれば、ご指摘ください。
よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5844e/>

インタビュー

2010年10月10日03時53分発行